

だい じ あんじょうした ぶん かきょうせい ぷ ら ん ねんど 第3次安城市多文化共生プラン 2025～2029年度

ぷ ら ん つく プランを 作るに あたって

■ ぷ ら ん つく りゆう プランを 作った 理由

あんじょうし たぶん かきょうせい とりくみ きじゆん ねん がつ だい
安城市は、多文化共生の 取組を すすめる 基準として、2014年3月に 第1
じ あんじょうした ぶん かきょうせい ぷ ら ん ねん がつ だい じ あんじょうした ぶん かきょうせい ぷ ら ん
次安城市多文化共生プラン、2019年3月に 第2次安城市多文化共生プランを
つくり、いろいろな とりくみ を してきました。

あんじょうし こうじょう おお がいこくじん はたら
安城市は、工 場が 多くて 外国人が たくさん 働 いています。これから、もっと
おお がいこくじん あんじょうし す い にほんじん がいこくじん
多くの 外国人が 安城市に 住むと 言われています。そのため、日本人も 外国人
も、もっと 暮らしやすく するために、第3次プランを つくることに しました。

■ い ち 位置づけ

あんじょうし いちばん たいせつ けいかく だい じ あんじょう し そうごうけいかく くに あいちけん
安城市の 一番 大切な 計画である「第9次安城市総合計画」と、国や 愛知県の
けいかく かんが い あんじょうし たぶんかきょうせい とりくみ ほうしん かんが
計画なども 考 えに 入れて、安城市の 多文化共生の 取組を すすめる 方針や 考
え方を しめ したものです。ぷ ら ん とりくみ あんじょうしやくしょ すべ
の 部署が 協 力して 取組を すすすめます。

■ けいかくき かん 計画期間

2025年度から 2029年度までの 5年間と します。

き ほんてき かんが かた 基本的な 考え方

■ り ねん 理念

だい じ ぷ ら ん あんしん く たぶんか あんじょう う つ
第2次プランの「だれもが 安心して 暮らせる 多文化のまち 安城」を 受け継ぎ
ながら、にほんじんしみん がいこくじんしみん ぎょうせい しみん すべ ひと きょうりょく
多文化共生社会を 目指すという 意味を込めて、「ともに つくろう」を つけ加えた
い か り ねん
以下を 理念と します。

ともにつくろう だれもがあんしんして暮らせる 多文化のまち安城

■施策の 方針

第3次プランでは、理念をもとに、3つの施策の 方針を決めました。

多様な 主体による 地域づくり
ライフステージに 応じた 暮らしの 支援
コミュニケーションの 充実

施策内容 <★新規 ◎拡充 ○継続> ※太字は 重点的な 取組

■1. 多様な 主体による 地域づくり

多文化 共生の 意識を 持つ人を 増やし、多文化 共生で 活躍する 市民や 市民活動
団体を 探して、育て、市民活動団体と 行政が 協力することで、行政と 市民、
市民同士など、安 城市全体で 多文化 共生の 取組を すすめます。

1-1 多様な 主体と 協力して 行う

多文化 共生に 関わる 市民や、多文化 共生 推進団体との 定期的な 情報交換◎

多文化 共生を すすめる 団体の 活動を 助ける★

多文化 共生に 興味をもつ 市民を 見つける◎

外国人を 雇っている 企業などと 協力できるようにする★

多文化 共生の 拠点をつくる◎

1-2 多文化 共生の 意識を 持つ人を 増やし、お互いを 理解し、交流を すすめる

多文化 共生の 意味を 知らせる○

いろいろな 国の 言語や 文化・習慣に 触れる 機会をつくる○

国際理解・国際交流の 講座や イベントを やる○

外国人市民も 参加しやすい 講座や イベントを やる○

多文化 共生を すすめる団体が 交流 イベントを 開きやすくする◎

海外の 姉妹都市などと 交流 する○

1-3 外国人市民の活躍をすすめる

活躍のロールモデルとなる外国人市民を紹介する○

多文化共生に興味をもつ市民を見つける◎【再掲】

外国人市民と定期的に意見交換する○

外国人市民に地域の活動を知らせる・教える◎

身近なコミュニケーションツールを知らせる○

■2. ライフステージに応じた暮らしの支援

外国人が増えたり、いろいろな国籍の人が増えたりして、複雑になった外国人市民からの相談に対し、いろいろな部署・機関が連携し、いつまでも続く支援を行います。

2-1 外国人市民に寄り添った相談の体制づくり

市役所で多言語での相談ができるようにする○

外国人相談員や専門家に相談できるようにする★

市役所は、関係する部署・機関と連携して相談に対応する★

市役所における多文化共生の意識を高める○

市役所の職員に、外国人の相談に対応するための、研修をする★

市役所の職員は「やさしい日本語」を使うようにする○

2-2 安全・安心な暮らしに関する制度・情報の理解促進

外国人市民へ、健康保険、年金、介護保険などの社会保障制度を知らせる○

防災に関する知識を知らせる○

地域の防災訓練、防災講習会などへの参加をすすめる○

避難所における外国人の市民への対応をすすめる★

日常生活のルールなどに関する情報を知らせる◎

日常生活のルールなどに関する講座をする○

外国人市民向けの生活・イベント情報を知らせる○

あいち医療通訳システムを知らせる○

2-3 外国人市民の活躍推進

出産・子育ての情報を教える○

子育て施設に外国人市民が行きやすくする○

子育て中の親子が集まれる場所をつくる○

外国人親子の子育ての悩みを聞いて、助ける○

家で母国の文化や母語に触れられるようにする★

外国人の子どもの発達に関する悩みを聞いて、助ける○

保育園、幼稚園、学校に行っていない子どもを助ける★

小学校に行く前の子どもに日本語を教える、日本の学校のことを教える◎

子ども日本語教室・学習支援教室の開催・運営を助ける◎

小中学校で日本語指導が必要な児童生徒の日本語学習を助ける○

日本語指導が必要な児童生徒を助ける時は、多文化共生をすすめる団体と協力する○

日本語指導が必要な児童生徒と保護者に、キャリア形成や日本の教育制度を教える◎

中学校を卒業した後、勉強で困っている外国人の子どもを助ける★

■3. コミュニケーションの充実

外国人市民が日本語を勉強しやすくします。外国人市民が情報を得られるよう、効果的な情報提供・発信などに取り組みます。

3-1 情報を発信する体制づくり

SNSなどを使って情報発信する◎

市役所からの文書を多言語化していく○

市役所での手続き時などを利用して情報を知らせる○

外国人を雇っている企業へ情報を知らせる★

多文化共生をすすめる団体、外国人のコミュニティと協力して情報を発信する★

3-2 日本語の教育をすすめる

おとなにほんごがくしゅう かいさい うんえい たす
大人日本語教室の開催・運営を助ける◎

こ にほんご きょうしつ がくしゅう し えんきょうしつ かいさい うんえい たす さいけい
子ども日本語教室・学習支援教室の開催・運営を助ける◎【再掲】

しょうがっこう い まえ こ にほんご おし にほん がっこう おし
小学校に行く 前の子どもに日本語を教える、日本の学校のことを教える◎
【再掲】

にほんご きょうしつ かん じょうほう し
日本語教室に関する情報を知らせる★

おんらいんがくしゅう ツールなどの じょうほう し
オンライン学習 ツールなどの情報を知らせる★

3-3 国籍を超えたコミュニケーションをすすめる

にほんご しゅうち
「やさしい日本語」の周知★

にほんご かん こうざ
「やさしい日本語」に関する講座をする★

みぢか こみゆにけーしょん ツール し さいけい
身近な コミュニケーションツールを知らせる○【再掲】

しやくしょ しよくいん にほんご つか さいけい
市役所の職員は「やさしい日本語」を使うようにする○【再掲】

プランの推進に向けて

■プランの推進体制

ぶらん をすすめるため、あんじょうし しみん だんたい きぎょう れんけい きょうりよく おこな
プランをすすめるため、安城市、市民、団体、企業が、連携・協力して行
いながら、取り組みます。あんじょうしやくしょ しみんきょうどうか たぶんかきょうせい
安城市役所では、市民協働課が多文化共生をすすめる
おも たんとく とく
主な担当として、取り組みます。

■プランの進捗管理

ぶらん がすすんでいるか かくにん しみんきょうどうか かんけい か まいとし
プランがすすんでいるか 確認するのは、市民協働課が関係する課に、毎年す
すんでいる じょうきょう ちょうさ ぶらん もと しさく とりくみないよう じょう
状況を調査し、プランに基づく施策の取組内容やすすんでいる状
況を取りまとめていきます。

だい じ あんじょうし たぶんかきょうせい ぶらん さくていしん ぎかい いいん ちゅうしん
また、第3次安城市多文化共生プラン策定審議会の委員を 中心につくる
「たぶんかきょうせいこんわかい じっせき ほうこく いいん いけん き
「多文化共生懇話会」で実績を報告し、委員からの意見などを聞きます。

せいかしひょう
■成果指標

しひょう 指標	げんじょうち 現状値 (2023年度)	もくひょうち 目標値 (2029年度)
たぶん かきょうせい 多文化共生をすすめる団体 かつどう で活動する人	160人	240人
たぶん かきょうせい 多文化共生がわかる にほんじん しみん わりあい 日本人の市民の割合	45.1%	60.0%
まちの いべんと イベントに参加した ことのある がいこくじん しみん 外国人の市民の わりあい 割合	51.7%	60.0%
にちじょうせいかつ 日常生活で困っている がい こくじん しみん わりあい 外国人の市民の割合	75.1%	65.0%
さいがい 災害への準備ができてい る がいこくじん しみん わりあい 外国人の市民の割合	32.8%	50.0%
にほんご しどう 日本語指導が 必要な せいと 生徒が こうこう 高校などへ すす む わりあい 割合	84.0%	91.0%
がいこくじん む 外国人向け SNS「Anjo- info」の とうろくしゃ かず 登録者の数	facebook: 778人 Instagram: 343人	facebook: 1,600人 Instagram: 700人
にほんご 日本語で困ったことがある がいこくじん しみん わりあい 外国人の市民の割合	69.6%	65.0%
「やさしい日本語」をし にほんご 知っている 日本人の 市民の 割合	29.2%	40.0%